



日本聖公会東京教区 聖アンデレ教会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-18
電話03-3431-2822 FAX 03-3434-5698
E-mail:st-andrew.tko@nssk.org
電話礼拝 03-3431-0250
Web:http://www.st-andrew-tokyo.com

(週報掲載/Web 動画配信中)

聖霊降臨後第 24 主日

2021 年 11 月 7 日

礼拝案内

礼拝参加にあたって

※教会ホームページより動画で配信されています。
(映像に映りたくない方は、その旨お伝えください。)
※歌いまは唱えるところは、小声で、または心の中で唱えます。
※マスクを着用し、礼拝中、席の移動はお控えください。
※体調や、気分の不調のときは、遠慮なくお申し出ください。
※詳しくは、「礼拝参加にあたって (2021 年 10 月)」をお読みください。

十 午前 7 時 30 分 聖餐式
聖歌 331 506 507
司式・説教：司祭 下条裕章

十 午前 9 時 15 分 (隔週・本日お休み)
こどもとともにささげる礼拝

十 午前 10 時 30 分 聖餐式
司式：司祭 下条裕章

入堂聖歌 331
参入 1 頁(162 頁)
清めの祈り 1 頁(162 頁)
キリエ 2 頁(163 頁)
大栄光の歌 3 頁(164 頁)

特 祈 (特定 27)

全能の神よ、何ものもあなたの支配に逆らうことはできません。どうかこの世の変動の中においても、常にみ国の到来とみ心の成就を望み、確かな信仰をもってひたすら主に仕えさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

み言葉

旧約聖書 王上 17 章 8-16 節
詩篇 第 146 編 5-10 (週報 4 面)
使徒書 ヘブ 9 章 24-28 節
福音書前聖歌 503
福音書 マコ 12 章 38-44 節

説教 司祭 下条裕章
ニケヤ信経 9 頁(166 頁)
< 諸報告 >
代 祈 (代 祈 項 目 週 報 2 面) 12 頁(168 頁)
懺 悔 13 頁(170 頁)
聖 餐
平和のあいさつ 15 頁(171 頁)
奉 献 聖 歌 506
奉 献 15 頁(172 頁)
感 謝 聖 別 [I] / [II] 16(173/176)頁

陪餐にあたって

※マスク着用のまま、お互いの距離をとり、案内に従って座席後方の通路を経て中央通路を聖卓に進みます。
※祝福を希望される方も同様に進みます。
※陪餐の直前にマスクを外し、手指を消毒します。
※手のひらで、司祭からパン、またはぶどう酒に浸したパンを受けます。
※マスクを着け (必要があれば手指を消毒し) 席に最も近い通路部分を通して席に戻ります。

陪餐聖歌 526
感 謝 28 頁(182 頁)
祝 福 28 頁(183 頁)
派 遣
退堂聖歌 507

十 午後 5 時 夕の礼拝
詩 34 シラ 51:13-22 ルカ 14:12-24
聖歌 503

聖アンデレ教会にはじめて来られた方へ

ようこそ教会へお越しくださいました。歓迎します。お聞きになりたいこと、分からないことなどありましたら、受付担当者までお声がけください。
洗礼・堅信を受け、陪餐の許しのある方は、パンとぶどう酒をいただきます。また他の教派の教会で洗礼を受けて聖餐に与っている方の陪餐を許可し歓迎します。

本日の代禱 <敬称略>

I わたしたちの教会 - 全公会のため

聖アンデレ教会 (フランシス下条裕章司祭)

教会の諸活動、教会に関わる諸団体の働き

信徒・教役者 (スザナ中村真希聖職候補生、
トマス日高馨輔執事) の宣教・奉仕の働き

東京教区 (フランシスコ・ザビエル高橋宏幸主教)

聖アンデレ主教座聖堂、教区事務所、

聖オルバン教会 (カスリーン・カリネイン司祭)

聖パウロ教会、財政委員会、広報委員会

東日本宣教協働区 (北海道・東北・北関東・東京教区)

各教区と宣教協働委員会の働き、

北関東教区のすべての教会、施設の働きのため、
ことに水戸聖ステパノ教会、聖慰主教会、

小山聖ミカエル教会

日本聖公会 (首座主教ルカ武藤謙一主教)

東北教区 (ヨハネ吉田雅人主教) のすべての教会、
施設の働きのため

アメリカ聖公会メリーランド教区

(ユージン・テラー・サットン主教)

セヴァナ・パーク 聖マーチン・イン・ザ・
フィールド教会

ウェスト・リバー キリスト教会

エルサレムおよび中東聖公会

(ホサム・ナウム大主教)

アンマン パレスチナ病院

全世界の聖公会

(ジャスティン・ウェルビー カンタベリー大主教)

アオテアロア・ニュージーランド・ポリネシア聖
公会のため

日本キリスト教協議会 (NCC) の働き

キリスト友会日本年会

NCC 都市・農村宣教委員会 (URM)

II 正義と平和の実現のため

戦争の終結、世界の平和と和解の実現のため

日本国とアジアの諸国の人びと

世界各国・地域の指導的立場の人びと

III 隣り人のため

日々を共に暮らし、また離れて暮らすそれぞれの
家族、友人、同僚、心にかけている人びと

愛と正義と平和の実現のために働く人びと

困難な人びとを支える働きのため、浅草聖ヨハネ
教会日曜給食活動、こども食堂に関わる人びと

洗礼、堅信、初陪餐、結婚の準備をしている人、
また入信の志願者が与えられるため

聖アンデレ教会に連なるすべての人びと

この地域で生活し、働いている人びと

今月の代禱・信施奉獻先

- ・ 済州 (チェジュ) 教会・西帰浦 (ソギポ) 教
会の働きのため (大韓聖公会釜山教区済州教会)
- ・ アジア学院の働きのため

IV 困難な状況にある方々のため

感染症の収束のため、療養中、困難や悲しみの中
にある人びと、医療と看護、支援に携わる人びと
震災や風水害、世界各地の自然災害の被災者、ま
た原子力発電所事故の被災者

戦争や暴力、犯罪や差別、また軍事基地の存在の
ため、いのちの危険を感じている人びと

自由を奪われ、拘束されている人びと

住む場所を追われた人びと

病床にある方々を覚えて <50音順>

V 逝去記念

本日・今週の予定

7日(日) 聖霊降臨後第24主日(特定27)

7時半 聖餐式
10時半 聖餐式
17時 夕の礼拝

8日(月) 7時半 礼拝

知 1:1-7 詩 139:1-10 ルカ 17:1-6
※中村聖職候補生定休

9日(火) 7時半 礼拝

知 2:23-3:9 詩 34:1-6 ルカ 17:7-10
※下条司祭休暇(13日まで)

14時 教区礼拝収録

10日(水) 知 6:1-11 詩 82 ルカ 17:11-19

19時 東京・北関東合同教役者会(ZOOM)

11日(木) 7時半 礼拝

知 7:22b-8:1 詩 119:89-96 ルカ 17:20-25

14時半 午後2時46分の黙想と祈り(主教座)
午後 外出予定(中村)

12日(金) 7時半 礼拝(みことば)

知 13:1-9 詩 19:1-4 ルカ 17:26-35,37

13日(土) 7時半 礼拝

知 18:14-16,19:6-9 詩 105:1-5,34-42 ルカ 18:1-8

※主日午前中、週日の礼拝は「聖餐式」または「みことばの礼拝」を用いて行なわれます。

※下条司祭休暇：11月9日～13日の間お休みを頂きます。その間、連絡等は教会(中村)まで。

14日(日) 聖霊降臨後第25主日(特定28)

7時半 聖餐式
9時15分 こどもとともにささげる礼拝
収穫感謝・祝福式(参加者限定)
10時半 聖餐式
ダニ 12:1-4a 詩 16:5-11
ヘブ 10:31-39 マコ 13:14-23
入堂聖歌 222 退堂聖歌 378
17時 夕の礼拝

午後 カリネイン司祭来会

<お知らせ>

- ◇ 日曜日午前中の礼拝参加はグループ制(本日はCグループです)、他の礼拝への参加は事前連絡が必要です。詳しくは、別紙「礼拝参加にあたって(2021年10月)」をお読みください。
- ◇ 聖堂の扉は、日中(朝8時頃から夕方5時頃)開いています。個人の祈りや黙想が可能です。
- ◇ 聖堂の様子は、動画配信されています。教会ホームページの一番下、「聖アンデレ教会のいくつかの礼拝をこちらで配信しています」の「こちら」をクリックすると見ることができます。
- ◇ 主日・週日の礼拝は、上の動画配信のほか、礼拝電話(03-3431-0250)から音声を聴くことができます。
- ◇ 「週報」をメール(またはFAX)で受け取ることを希望される方は教会までご連絡ください。(教会ホームページには毎週掲載されています。)
- ◇ 教会連絡網への登録をお願いします。メールでの連絡(お知らせ、訃報等)をご希望の方は st.andrews.tokyo.office@gmail.com へ、(FAXで連絡をご希望の方は教会FAXへ)お名前と連絡先をお知らせください。
- ◇ 住所・連絡先に変更があるときは、教会まで早速ご連絡ください。
- ◇ 聖アンデレ教会広報チャンネルでは、様々な情報を配信中です。「今、福音に聴く—マルコによる福音書の通読とメッセージ—」ほか。日々の信仰生活にお役立てください。

聖アンデレ教会広報チャンネル



<https://youtu.be/H0jyQiXgSC4>

- ◇ ご家族・少人数での記念式や礼拝参加、牧会訪問、自宅や病床での陪餐を希望される方は教会までご連絡ください。

詩編 第 146 編 5-10

5 ヤコブの神を助けとし // 主に希望をかける
人は幸せ

6 神は天と地を造り、海とその中のあらゆるものを形造り // とこしえにまことを示された

7 虐げられた人のために審きを行い // 飢え渴く人にパンを恵み、捕らわれ人を解放される

8 主は見えない人の目を開き // 卑しめられて

いる人を高め、正しい人を愛される

9 主は他国から来ている人を守り // 身寄りのない子供とやもめを支え、悪人の企てを碎かれる

10 主はとこしえに治められる // シオンの神は世々に、ハレルヤ

今週のメッセージ

ローマの教会で一度、一定の期間の「献金をしよう」キャンペーンのようなものを行ったことがあります。毎主日の礼拝で呼びかけられ、一人ずつ目標額を決め、専用の封筒を作って達成していきます。財政面の課題を抱える教会は多いですが、色々な工夫をこらしながら、教会の財政的基盤を維持しつつ、どうやって前向きに宣教に生かしていくのか、そしてどうやってそのことに信徒一人一人が主体的に関わっていくのか考える機会となりました。私は当時貧乏留学生だったので、どこか「財政面では役に立ってない」と切り離していた部分がありましたが、その私がお勧めできる額でこのキャンペーンに参加しなければ、と考えを新たに、参加したことを覚えています。教会でお金のお話をするなんてとか、教会は奉仕の団体なのに、無理に支払わせようとするなんて、といった、拒絶反応や批判的意見もかなり聞こえてきましたが、そのときの教役者の先生方は、献金の意味を何週にもわたって丁寧にレクチャーしてくださり、改めて献金の大切さ、教会が献金によって支えられていることの意味を学ぶ機会ともなりました。

今日の福音書では、賽銭箱にレプトン銅貨2枚を投げ入れた貧しいやもめが登場します。貨幣の最小単位であるレプトン銅貨1枚が1デナリオン(当時の1日の賃金程度)の1/128と考えると、本当にわずかな献金だったことが分かります。しかしイエスは彼女こそ、だれよりもたくさん賽銭箱に入れたのだ、と言います。それは彼女が「生活費全部」を入れたからだ、ということでした。

この「生活費」と訳されている言葉は「人生、生活」といった意味も持っている言葉です。つまり、必ずしも生活にかかるお金のみを意味してはいりません。この貧しいやもめはお金もなく、おそらく頼るものもなく、不安で惨めに見える生活を送っていたのかもしれませんが、全力で今自分が持っているものを神に献げ、神に頼む姿勢を示しました。その人生、生命をかけた信仰をこそイエスは認められ、「有り余る中から」好みや選択肢の一つとして、あるいは見せびらかすようにして献金を献げる人々の姿勢を批判したのでしょうか。

キリスト者の信仰は、神の大きな愛と恵み、憐れみに対する感謝の応答です。献金はときに信施と呼ばれますが、まさしく信仰に基づいて、信仰的な応答として神に献げるのだということを決して忘れてはならないと思います。「すべてのものは主の賜物。私たちは主から受けて主に献げたのです。」と毎週唱える言葉の重みをかみしめながら、それぞれが感謝を持ち、信仰のみに基づいて神に応答していけるよう、歩んでいきたいと願います。

聖職候補生 スザンナ中村真希

以下のホームページもご活用ください。

聖アンデレ教会



<http://www.st-andrew-tokyo.com/web/>

聖アンデレ主教座聖堂



<http://www.anglicancathedral.tokyo/>

日本聖公会東京教区



<https://www.nskk.org/tokyo/>